

## 平成 28 年度 石狩市教育委員会会議（2 月定例会）会議録

平成 29 年 2 月 14 日（火）

開 会 15 時 00 分

第 2 委員会室

### ○委員の出欠状況

委 員 氏 名	出席	欠席	備 考
教育長 鎌 田 英 暢	○		
委 員 門 馬 富士子	○		
委 員 松 尾 拓 也	○		
委 員 山 本 由美子	○		
委 員 永 山 隆 繁	○		

### ○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	佐々木 隆 哉
生涯学習部次長（教育指導担当）	松 井 卓
生涯学習部次長（社会教育担当）	東 信 也
総務企画課長	安 崎 克 仁
学校教育課長	菅 原 崇 喜
文化財課長	工 藤 義 衛
厚田生涯学習課長	田 村 和 人
浜益生涯学習課長	笹 富 雄
教育支援センター長	開 発 克 久
特別支援教育担当課長	森 朋 代
市民図書館副館長	清 水 千 晴
生涯学習部参事（指導担当）	濱 本 賢 一
総務企画課主幹	松 永 実
総務企画課総務企画担当主査	古 屋 昇 一
学校給食センター学校給食担当主査	近 藤 和 磨

## 議事日程

### 日程第1 会議録署名委員の指名

### 日程第2 議案審議

- 議案第1号 平成28年度一般会計補正予算（第7号補正）について
- 議案第2号 平成29年度教育行政執行方針について
- 議案第3号 平成29年度一般会計予算について
- 議案第4号 石狩市資料館条例の一部改正について
- 議案第5号 本町・八幡地区の学校整備の具体策について
- 議案第6号 車両の損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定の件について
- 報告第1号 教職員の処分について（結果）

### 日程第3 教育長報告

### 日程第4 報告事項

- ① 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
- ② 厚田小学校プールの整備について

### 日程第5 その他

- ① 特別支援教育講演会について
- ② 第29回石狩市公民館まつりにについて

### 日程第6 次回定例会の開催日程について

---

## 開会宣告

（鎌田教育長）ただ今から、平成28年度教育委員会会議2月定例会を開会いたします。

## 日程第 1 会議録署名委員の指名

(鎌田教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名ですが、松尾委員にお願いいたします。

## 日程第 2 議案審議

(鎌田教育長) 日程第 2 議案審議を議題といたします。

### 議案第 1 号から第 4 号及び第 6 号、報告第 1 号を非公開案件とする件について

(鎌田教育長) 議案第 1 号「平成 28 年度一般会計補正予算(第 7 号補正)について」、議案第 2 号「平成 29 年度教育行政執行方針について」、議案第 3 号「平成 29 年度一般会計予算について」、議案第 4 号「石狩市資料館条例の一部改正について」、議案第 6 号「車両の損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定の件について」、以上議案 5 件につきましては、石狩市教育委員会会議規則第 15 条第 1 項第 4 号に該当する案件でございます。また報告第 1 号「教職員の処分について(結果)」につきましても同規則第 15 条第 1 項第 1 号に該当いたしますので、非公開案件として後ほど審議したいと思います。ご異議ありませんか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、非公開とすることに決定いたしました。

### 議案第 5 号「本町・八幡地区の学校整備の具体策について」

(鎌田教育長) それでは議案第 5 号「本町・八幡地区の学校整備の具体策について」提案をお願いします。

(佐々木生涯学習部長) それでは議案第 5 号「本町・八幡地区の学校整備の具体策について」でございます。本件につきましては、平成 27 年 11 月教育委員会会議で決定いたしました学校整備の具体策について、これまで保護者や地域への説明会を重ねてきたところでありまして、この間の状況は先月の教育委員会会議で

もご協議をいただいたところであります。去る2月7日に親船会館で開催いたしました説明会をもって、予定していた説明会の日程は全て終了いたしました。ここであらためて、学校整備の具体策について議決を求めるものでございます。詳細については、松永総務企画課主幹からご説明いたします。

(松永総務企画課主幹) それでは私から議案第5号「本町・八幡地区の学校整備の具体策について」ご説明いたします。先月1月26日に開催いたしました平成28年度教育委員会会議1月定例会において、この件につきまして協議事項として委員の皆様にご協議していただくため、これまでの経緯経過や昨年11月24日と今年1月12日に本町地区と八幡地区のそれぞれで開催した保護者・地域説明会の内容についてご報告しましたとともに、石狩小学校と八幡小学校を統合するにあたって、教育委員会として特に留意、配慮をしていかななくてはならない事項について委員の皆様にご説明申し上げたところであります。これらを踏まえまして、本日この件につきまして議案として提出させていただきたいと存じます。資料1ページをご覧ください。

#### 議案第5号「本町・八幡地区の学校整備の具体策について」

教育委員会会議平成27年度11月定例会において承認された「学校整備の具体策(案)～厚田区、本町・八幡地区～」について、保護者・地域等への説明会で寄せられた意見、要望等を十分踏まえ、本町・八幡地区の学校整備の具体策を次のとおり定める。

#### 記

- 1 現在の八幡小学校の施設を活用し、石狩小学校と八幡小学校を統合した新たな学校を開校する。
- 2 統合校は、平成32年度に開校する。
- 3 上記1に際し、本市を代表する伝統校としての特色ある学校づくりを進める。  
(ふるさとに関する学習、放課後児童の環境整備、図書館機能の充実、コミュニティ・スクールの導入などの検討)
- 4 市教委は、石狩小学校の通学区域の児童へのスクールバスを運行する。

以上が議案でございます。今回お諮りいたします、本町・八幡地区の学校統合を含めた学校整備につきましては、教育委員会といたしまして、大きく次の3つの事項、まず一点目は、スクールバスの運行について、石狩小学校の通学区域の児童のためのバス運行にあたり、住所に応じた乗降場所と運行経路を設定して、効率の良いきめ細かな運行を行うこと。二点目は、冬季の悪天候時に、国道231

号（石狩河口橋）などの主要幹線道路が通行止めになった場合の対応について、これまで同様、道路管理者と市役所・市教委、学校との連絡体制を更に密にして情報の収集、伝達を行っていくことや、万一の急な天候変更や事故の発生等で下校・帰宅が困難になった場合に備えて、非常食や防災備蓄食の配備等を行うこと。そして三点目は、子ども達や保護者の不安の軽減、特に移らなければならない石狩小学校の子ども達への精神的な不安を取り除くための対応、配慮策として、スムーズに統合できるよう、統合前に計画的に学校間交流の取組を行っていくこと。以上3つの事項について特に留意して取り進めてまいりたいと考えております。また、保護者・地域説明会の中でご意見・ご要望として、特に多く寄せられました項目といたしまして、「閉校する石狩小学校の校舎の取扱いについて、解体は行わずに、歴史的建造物として価値のある円形校舎の後利用、有効活用に向けた具体的な検討を早期に行っていくこと」や、「統合校の新しい校名に、「石狩」の名を残してほしい」といったご要望、さらには市長部局の所管になりますが、現在、石狩小学校の近くに設置されております、放課後児童クラブ（学童保育：つくしクラブ）が老朽化しておりますことから、この度の学校統合に併せて、スクールバスの運行ルート等を踏まえながら、「放課後児童クラブの整備」を行ってまいりたいと考えております。今回の議案の提出にあたりましては、過日、2月7日（火）に、親船会館において、両地区の保護者や地域の方々を対象にした説明会を開催し、20名の方々にご出席をいただき、ただ今申し上げた内容等について説明させていただき、この度の「本町・八幡地区の学校整備の具体策の計画案について」概ねご了承をいただけたものと認識しているところでございます。教育委員会事務局といたしましては、石狩市の発祥の地であります本町地区と、共に石狩川を挟んでこれまで長い歴史を刻まれてきた八幡地区という、伝統ある両地区に及ぶ学校整備、学校統合の計画案について、特に一昨年からは保護者や地域の皆様に対して、説明会の開催周知や回数も含め、丁寧な説明を行うこと、そして、それぞれの説明会で寄せられたご意見やご要望の内容について、両地区で互いに報告、説明をし、両地区の方々が意識を共有され、コンセンサスが図られるよう尽力してきたところでございます。以上、議案第5号について議案提出をさせていただきます。宜しくご審議を賜りますようお願いいたします。

（鎌田教育長）ただ今、事務局から議案第5号についての説明がありました。委員の皆さんからご質問等があればお受けしたいと思います。ご質問等はございますか。

（松尾委員）議案として見ると何行かの議案なのですが、ここに至るまでに関係者の皆様、私ども教育委員会の事務局職員の皆さんが何度も協議検討の場を設け

て一歩ずつ進んできたものと思っております。本当にお疲れ様でした。この具体策の項目の中に「コミュニティ・スクールの導入の検討」というものがあります。やはり厚田区の学校整備と同様、地域があつての学校だと思ふのです。本町地区と八幡地区を今後どのように一緒の方向を向いて進めていくかというお話があつたと思いますが、実は学校のことだけではなくて、地域の未来像も考えていかないといけないのかなと思ふます。是非そういった視点を持ちながら、これから展開していくことが大切だと思ふます。私の意見として申し上げます。

(門馬委員) この統合の件に関しては足掛け3年という結構長い時間をかけて、地元の方々と議論し、我々教育委員も議論してこの議案に至つたわけですが、本町地区の方々にとっては学校が無くなるということはとても地域としては寂しい気持ちでいらっしゃると思ふのです。ただ諸々の状況を考えると統合もやむを得ないというお気持ちになってくださったものと受け止めており、そういうお気持ちを大切にしながら、この統合の仕事を進めていかなければいけないと思つたところです。

(鎌田教育長) ありがとうございます。他にご意見等はございますか。

意見なし

(鎌田教育長) 他に質疑等がないようですので、議案第5号につきましては原案どおり可決ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、議案第5号につきましては原案どおり可決しました。以上で日程第2を終了いたします。

### 日程第3 教育長報告

(鎌田教育長) 次に、日程第3 教育長報告といたします。お手元にペーパーをお配りしてあります。何かご質問等があれば受けたいと思ふますが、いかがでしょうか。

(門馬委員) 2月6日の「(仮称)厚田小中学校の施設設備関連に係る学校代表者

会議」には具体的にどのような方がお集まりになったのでしょうか。

(安崎総務企画課長)厚田区の小中学校の管理職及び一般教職員の方なのですが、今回の学校整備基本計画(案)に盛り込んでおります施設整備に関連しまして、学校から要望を受けておりますので、その内容が学校の要望どおりか、修正が必要かどうかといったことについて各学校にお聞きし、確認したところです。また普通教室等の配置につきましては、義務教育学校の学年の区切りを意識して計画することが必要であるとの考えから、まずは現時点で学校との検討協議をさせていただいたところです。

(門馬委員)わかりました。

(松尾委員)お聞きしたいことが2点あります。まずは2月4日の「北方領土返還期成同盟いしかりワーク」についてどのような内容であったのかについて、もう一点は2月13日の北海道教育推進会議については第7回ということで回数を重ねてきておりますが、どのような姿がみえてきているのか、どういう方向感に向かっているのかということをお教えいただければと思います。

(佐々木生涯学習部長)私から「北方領土返還期成同盟いしかりワーク」について報告します。北方領土復帰期成同盟石狩支部という機関がありまして、石狩市の副市長が支部長を務めており、石狩管内の各市町村からの代表者、行政に限らず民間の方も含めて北方領土に関心をもっている方々に集まっていたいて、北方領土に関するお話を聞きながら意見交換をするといった場です。今年は石狩市議会の議長が去年の夏にビザなし交流で択捉島を訪問された時の模様についての講演がありました。以上です。

(鎌田教育長)北海道教育推進会議についてですが、この会議の主な目的は新しい北海道の教育長期総合計画の策定となっており、道教委から示された計画の第1章から5章まである骨子案に対して意見を述べる形で進められてきたところです。次回は新年度に入り5月に開催予定ということで、各委員の意見を踏まえたかたちの計画案が提示されるものと考えております。以上です。

(松尾委員)わかりました。

(鎌田教育長)他にご質問等はございませんか

質問なし

(鎌田教育長) 他に質問等がないようですので、教育長報告については了承ということによろしいですか

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、教育長報告につきましては了承をいただきました。以上で、日程第3 教育長報告を終了いたします。

#### 日程第4 報告事項

(鎌田教育長) 次に、日程第4 報告事項を議題といたします。

#### 報告事項①「平成28年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について」

(鎌田教育長) 報告事項の①「平成28年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について」、事務局から説明をお願いします。

(濱本指導担当参事) 私から「平成28年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について」報告いたします。資料2ページをご覧ください。調査の目的につきましては、子どもの体力・運動能力の状況を把握分析することにより、子どもの体力・運動能力に関わる施策の成果と課題を検証し、改善するとともに、生活習慣や食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てるものとしております。調査の対象は小学校5年生及び中学校2年生となっております。内容につきましては、小学校8種目、中学校8種目及び子どものアンケートによる質問紙、学校に対するアンケートであります質問紙調査となっております。概要につきましては1ページをご覧ください。上から5行目に記載のとおり、本年度の石狩市の児童生徒の体格につきましては、小学校の男女と中学校の男子では身長・体重で全国平均を上回り、中学校の女子の身長では全国平均を上回りました。また、肥満傾向児、痩身傾向児の出現率についても全国・全道と概ね同じ結果となっております。体力合計点につきましては、小学校男女で昨年度を上回り、中学校では男子が昨年度を上回っております。種目別につきましても、小学校男女が8種目中3種目、握力・長座体前屈・ソフトボール投

げで全国平均を上回り、中学校では男子が握力・立ち幅跳び、女子は握力で全国平均を上回っております。ここ3年間の体力合計点の結果を見ますと、今年度は小学校男女、中学校男子で最も良い結果となっております。また、児童生徒質問紙においても、その結果として体力合計点が高い児童生徒ほど生活習慣が規則正しく身につけていること、児童生徒の運動やスポーツに対する意識が高いほど体力合計点が高い結果となり、その関連も明らかになっております。次に資料の4ページをご覧ください。ここでは小学校の体格・肥満度に関する調査の結果が掲載されております。網掛けの黒い部分が全国平均を上回っている部分となっております。次に5ページをご覧ください。小学校の実技の結果について記載されております。網掛けの部分が全国平均を上回っている部分であり、T得点の方は全国を50とした数値となっております。続いて6ページは、中学校の体格・肥満度に関する調査です。7ページは中学校の実技の結果となっております。8ページをご覧ください。小学校の児童質問紙の結果についてです。「運動やスポーツを好き」と回答した児童は、男女とも体力合計点が高い傾向にあります。また、「運動は大切」、「体力に自信がある」と回答した児童は、体力合計点が高い傾向を示しています。続いて10ページをご覧ください。運動習慣についてですが、運動部やスポーツクラブの所属の状況については全国と比べ男女とも下回っております。一週間の総運動時間は男女共全国平均を上回っています。男女共運動やスポーツの実施頻度が7時間以上の児童は、体力合計点が高い傾向にあります。次に12ページをご覧ください。「体育の授業が楽しい」と回答した生徒は、男女共体力合計点が高い傾向にあり、できないことができるようになったきっかけとして、男子では「先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」、女子では「友達に教えてもらった」が最も多い結果となっております。次に14ページをご覧ください。中学校の生徒質問紙の結果についてです。「運動・スポーツをすることが好き」または「やや好き」と回答した割合は、男女共昨年度を上回り、全国平均も上回っているところです。また、「運動が大切、得意」と回答している生徒は体力合計点が高い傾向が見られます。また、「中学校を卒業した後、自主的に運動スポーツの時間を持ちたい」と回答した男女の割合は、全国平均を上回っております。続いて16ページをご覧ください。部活動の状況についてです。学校の部活動の所属状況は、依然として男女共全国を下回り、所属していない割合も高い状況でございます。続いて17ページをご覧ください。運動習慣の状況ですが、授業以外の運動時間は男女共土曜日が一番多くなっており、一週間の総運動量で男女共7時間以上運動している生徒が、体力合計点が高い傾向でございます。続いて18ページをご覧ください。保健体育の授業についてですが、「保健体育の授業が楽しい」と回答した生徒は、男女共体力合計点が高い傾向にあり、できないことができるようになったきっかけとして、男子では「先生や友達のまねをした」、

「授業中、先生に個別のコツやポイントを教えてもらった」が多く、女子では「友達から教えてもらった」が多い傾向にあります。次に 20 ページからは、小中学校の学校質問紙の結果についてです。学校全体で授業以外で体力・運動能力の取り組みを行ったり、目標を設定している割合は小中共に 100%で、全国平均を上回っております。次に 21 ページをご覧ください。体育・保健体育の授業の目標、そして振り返りや助け合いについて取り入れている小中学校が 100%で、これも全国平均を上回っております。次に 22 ページをご覧ください。努力を要する児童生徒への取り組みということで、小学校では「授業中、コツやポイントを重点的に教える」が最も多く全国平均を上回り、中学校では「教員や友達のまねを促している」が最も多く、全国平均を上回っております。次に 24 ページをご覧ください。外部人材の活用する取り組みとして、小学校では体育の授業が最も多く、中学校では保健体育の授業、運動部の部活動が多く、全国平均を上回っております。石狩市教育委員会として、これまでの成果を確認するとともに、本調査で明確になった実技種目や運動習慣等の課題解決のために、これからも各学校が独自に取り組んでおります 1 校 1 プランや総合型地域スポーツクラブとの連携した取り組み、地域の教育力を活用した部活動指導を支援し、学校と連携をしながら子ども達の体力向上のための施策を進めてまいりたいと思います。引き続き、北海道版の資料（A 3 版）をご覧ください。石狩教育局と確認し合いながら作成したものでございます。一番下の石狩市の体力向上策としまして、小学校におきましては「各種運動の体育授業及び学校行事へのバランス良い位置付け」としまして、先ほど申し上げました「1 校 1 プランの推進」、「総合型地域スポーツクラブとの連携」に留意していきたいと思っております。中学校におきましては、同じく下の部分の「バランスの良い位置付け」から「1 校 1 プラン」、「地域の教育力を活用した部活動指導の充実」に努めてまいりたいと思います。私からは以上です。

（鎌田教育長）ただ今、事務局から報告がありました。この件について何かご質問等があれば受けたいと思います。いかがでしょうか。

（松尾委員）最後の 25 ページのところ、地域や関係機関との連携に関する取組ということで、まず中学校の部活動をイメージしたのですが、そのような理解でよろしいのでしょうか。

（濱本指導担当参事）はい。部活動のほかにスキー学習については、SAT（スクール・アシスタント・ティーチャー）の方々に指導していただいたり、学校体育の授業で柔道については、地域の方が外部指導者として協力していただいております。

(松尾委員) わかりました。多くの中学校の校長先生から部活動の生徒数が少なくなっているというお話を伺っていて、最初にそのことが頭に浮かんだのでお聞きしました。中学校では高等学校との連携が今後の課題と思われるという記載があるのですが、具体的にはどのようなことなのでしょう。

(松井教育指導担当次長) 小・中や幼・保・小の連携につきまして、このグラフを見ますと、中学校と高等学校との連携が石狩市は進んでいないということが読み取れます。地域や関係機関との連携先という設問に対して、石狩市では中学校で高等学校との連携が弱いと判断しており、今後進めていかなければならない課題であると考えているところです。

(松尾委員) 確かにグラフで見るとゼロとなっているのですが、事務局で把握されている他市町村の中・高の連携の具体的な事例はありますか。

(鎌田教育長) 例えば、陸上競技が得意な中学生が、高校の陸上部に所属する高校生と一緒に練習しながら、能力や技術を高めていくということも連携の一つとして言えるのかなと思います。また石狩市では、ソフトボールが市民のスポーツとして、小・中学生から高齢者までそれぞれチームがある中で、一緒に練習をしながら技術を伝え高められているということも連携の一つというイメージを持っています。

(濱本指導担当参事) 付け加えさせていただきますと、他の市町村では、中学校の剣道部が地元高校の剣道部の練習に出向いて参加させていただいたりする事例がございます。

(松尾委員) ありがとうございます。他の市町村で行われていることを全てやるべきだとは思いませんし、石狩市の地域特性もあると思いますので今後ご検討いただいて、成果が期待できるような取組があれば、積極的に進めてみていただければと思います。

(鎌田教育長) ありがとうございます。他にご質問等はございますか。

(山本委員) 最後にご説明いただいたA3版の資料についてですが、石狩市の小中学校の体力向上策として「総合型地域スポーツクラブとの連携」と記載されており、これは「アクト」との連携のことであると理解しましたが、現在、どのよう

な取組が行われているか教えていただけますか。

(濱本指導担当参事) 現在、八幡小学校や浜益小学校の体育の授業で、走り方教室などの講師として来ていただいたり、花川南小学校では放課後の事業で協力をいただいています。また教職員研修(サマーセミナー)でダンスの授業についての助言をいただいたりしています。

(山本委員) ありがとうございます。少ない予算で協力していただいていると思いますが、今後もアクトとの連携の取組を続けていただければと思います。

(鎌田教育長) ありがとうございます。他にご質問等はございますか。

(永山委員) 資料19ページで「体育の授業で、できないことができるようになったきっかけ」のグラフがあり、友達や先生に教えてもらったことが非常に高いというデータになっていますが、いじめの要因の一つとして「できなかった子が、できる子からいじめられる」というケースもあるような中で、「できない子へのフォローアップ」が非常に大事だと思うのですが、いかがでしょうか。

(濱本指導担当参事) いじめに係る調査等では、体育の授業がきっかけとなったいじめの認知については伺っておりません。例えば、体育の授業で、ある種目についてできなかった時に、友達からできるコツを教えてもらったり、先生方はできない子に対して、声かけを多くしてあげたりしますので、それを受けてやる気になったり、前向きな気持ちになったりするケースが多いと思っております。

(永山委員) できなかった子ができるようになったときに、周りの子ども達から拍手されるということがあると思うのですが、そういう雰囲気をもっとできればいいなと思っています。

(松井教育指導担当次長) 体育の授業の中で全員が同じ目標に向かって授業を行う場合もありますし、跳び箱で3段を跳べる子が、授業で4段を跳べるように個別の目標を設定したり、持久走であれば少しでも自分のタイムを縮められるように目標を持つようにするなど、個別目標に対して授業を進めていくというような取り組み方が随分多くなっております。その授業の結果について「今日はAさんが自分のタイムをこれだけ縮めることができた」というように、できたことをみんなで喜び合うというような授業づくりが進められています。私からは以上です。

(永山委員) わかりました。ありがとうございました。

(鎌田教育長) 他にご質問等はございますか。

(門馬委員) 体力合計点と学力との相関関係について調査されたことはあるのでしょうか。この調査結果報告書の1ページの下から3つ目のパラグラフのところで、「体力合計点が高い児童生徒ほど生活習慣が規則正しく身につけている」という記載があり、学力・学習状況調査においても、規則正しい生活習慣が身につけている子の学力は高い傾向にあるという結果が出ていました。非常に乱暴な言い方になるのですが、やはり体力と学力との相関関係があるのではないかと推測してしまうのですが、一般論としていかがでしょうか。

(濱本指導担当参事) 規則正しい生活習慣が定着している子は、体力や運動能力、学力の両方において伸びてくるという傾向はあると思っています。また、次年度に今回の調査を受けた学年の子ども達が、全国学力・学習状況調査を受けることになっており、どういう結果傾向になっていくのかということ注視していきたいと思っております。

(松尾委員) 今のことに関連しての意見です。私は運動が苦手だったのですが、子どもの頃、規則正しい生活習慣については何度も言われた記憶があります。その一方では『学力』の経済学(中室牧子著)」という著書の中で、目に見える学力みたいなものを下支えしている能力、例えば、「自分をどうコントロールするか」、「人づきあいの中でどういうふう振る舞うか」というような能力のことを、著書の中では非認知能力と言われてはいますが、このような目でなかなか見えにくい能力みたいなものが重要であるということが、最近わかってきていると思うのです。そのような能力をトレーニングしていくにはどのようなカリキュラムが効果的なのかについては、これからの課題なので難しいと思うのですが、学力をつけさせるためのカリキュラムがあるのと同じように、そういった視点も今後意識していかななくてはならないのではないかと感じました。以上です。

(鎌田教育長) ありがとうございます。他にご質問等はありませんか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質問等がないようなので、報告事項①を了解ということによ

ろしいでしょうか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、報告事項①を了解いたしました。

## 報告事項②「厚田小学校プールの整備について」

(鎌田教育長) 次に、報告事項②「厚田小学校プールの整備について」、事務局から説明をお願いします。

(安崎総務企画課長) 私から「厚田小学校プールの整備について」説明させていただきます。別紙資料をご覧ください。厚田スポーツセンターの取り壊しに伴い、平成 29 年度においては、厚田区と浜益区の小学校における水泳授業は旧石狩市域の施設を利用することになりますが、厚田区内にプールを建設し、学校や児童の負担感を早期に解消できるように、平成 30 年度からの供用開始を目指して、平成 29 年度に学校プールを整備するものでございます。2 ページの図面をご覧ください。建設位置は厚田中学校グラウンドの南側フェンスに隣接する市有地となります。次に 3 ページの図面をご覧ください。現在、建設予定地には旧教員住宅 2 棟と倉庫が建っております。薄い網掛けで表示されている 2 棟が旧教員住宅で、右側の網掛けが倉庫となっております。それを取り壊した後にプールを建設することとなります。次に A 3 版の図面をご覧ください。施設の概要としまして、プールの形状については一般の 3 レーンの 25m プールと、その横に 6 m × 5 m の幼児用プールを併設いたします。プールの建築素材として、プール槽につきましては海岸地域に隣接していることから錆に対する対策を第一に考える必要がございますので、FRP 製としたところでございます。またプールの上屋につきましては、旧石狩市域の学校プールではシート方式となっており、春に設置、秋にシートを撤去し、冬はプール槽をシートで養生しているところですが、塩害への対策として、鉄骨やプール槽の耐久性を向上させるために、これまでの厚田スポーツセンターと同様に常設の屋根を設置いたします。管理棟には採暖室、男女更衣室、トイレには男女別のほかに多目的トイレを設置いたします。現在、市内の小学校 4 校に学校プールを設置しておりますが、学校教育活動に支障のない範囲で一般開放も行っておりますので、厚田小学校プールも同様の形態で一般開放したいと考えております。開放期間につきましては 6 月下旬から 9 月上旬で、水曜日は開放を中止し、メンテナンスの日としております。開放時間は夏休み期間と土・日・祝日

が午後1時から5時、平日は午後3時から5時としております。使用料については徴収しておりません。来年度の工事は5月から予定地にある建物の取り壊しを行い、7月からプール本体の建設を行う予定としております。また3月1日からパブリックコメントを行うこととしております。私からは以上です。

(鎌田教育長) ただ今、事務局から説明がありましたが、この件につきましてご質問等はございませんか。

(松尾委員) 一点だけお聞きします。これまでも厚田のプールでは一般開放を行っていたと思うのですが、どのくらいの利用者数であったのかわかりますか。利用実態が結構多いということであれば、一般開放が主目的ではないにせよ、地域のプールみたいな意識が必要になるのではないかと思ったのでお聞きしました。学校の授業で利用されることがメインで、一般開放利用はちらほらということであれば特に意識しなくてもいいのかなと思ったところです。

(安崎総務企画課長) 旧石狩市域も同様だと思いますが、主な利用者は子どもです。大人の方は月に30人程度ですので、旧石狩市域も厚田区につきましても、その程度の利用者がいらっしゃると理解しております。

(松尾委員) わかりました。

(鎌田教育長) 他にご質問等はございますか。

質問なし

(鎌田教育長) 他に質問等がないようですので、報告事項の②は了解ということではよろしいでしょうか

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、報告事項の②を了解いたしました。以上で、日程第4 報告事項を終了いたします。

日程第5 その他

(鎌田教育長) 次に、日程第5 その他を議題といたします。事務局よりお願いします。

① 特別支援教育講演会について

(森特別支援教育担当課長より、別紙資料(ちらし)を基に説明。)

② 第29回石狩市公民館まつりについて

(東社会教育担当次長より、別紙資料(ちらし)を基に説明。)

(鎌田教育長) ただ今、事務局から2件の事業についての説明がありました。ご質問等がございますか。

質問なし

(鎌田教育長) 質問等がないようですので、この2件について了解ということでよろしいですか。

異議なし

(鎌田教育長) ご異議なしと認め、その他については了解いたしました。以上で日程第5 その他を終了いたします。

日程第6 次回定例会の開催について

(鎌田教育長) 次に、日程第6 次回の会議の開催日程を議題といたします。次回につきましては、3月27日の月曜日、13時からの開催を予定しておりますので宜しくお願い申し上げます。以上をもって、公開案件につきましては終了いたします。非公開案件の説明員以外の方はご退席をお願いいたします。

---

**【非公開案件の審議等】**  
15時00分～15時56分

---

## 閉会宣告

(鎌田教育長) 以上をもって、2月定例会の案件は全て終了いたしました。以上で、平成28年度教育委員会会議2月定例会を閉会いたします。

閉会 17時09分

### 【非公開案件の審議等の結果】

議案第1号 平成27年度一般会計補正予算（第7号補正）について

原案どおり可決した。（質疑等省略）

議案第2号 平成29年度教育行政執行方針について

原案どおり可決した。（質疑等省略）

議案第3号 平成29年度一般会計予算について

原案どおり可決した。（質疑等省略）

議案第4号 石狩市資料館条例の一部改正について

原案どおり可決した。（質疑等省略）

議案第6号 車両の損壊事故に関わる和解及び損害賠償額の決定の件について

原案どおり可決した。（質疑等省略）

報告第1号 教職員の処分について（結果）

原案どおり承認した。（質疑等省略）

## 会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成29年3月27日

教育長 鎌田英暢

署名委員 松尾拓也